

令和6年度 第2回 京都大学防災研究所自然災害研究協議会 議事録

日時：令和6年10月2日（火）16時00分～17時00分

場所：ZoomによるWEB会議

出席者：1号委員 大湊、河島、滝口、池田【議長】、奥村

2号委員 菊地、今村、内村、野田、藤本、鈴木、山城

3号委員 加藤、山口、王、梶川、小林、塚原、杉浦

4号委員 大倉、宮本

5号委員 平野

6号委員 柴山、畑山、廣井

欠席 蔭、角

ホ`ザ`バ` 堀、境、大慈弥、久利、前田（代理）

陪席 河津、山本

（敬称略、委員名簿順）

配付資料：

資料1 京都大学防災研究所 自然災害研究協議会 委員名簿

資料1 第2回自然災害研究協議会 出席者名簿

資料2 令和6年度第1回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録（案）

資料3 本部・各地区部会の活動報告（中間）

3-1 本部、3-2 北海道地区、3-3 東北地区、3-4 関東地区、3-5 中部地区、3-6 近畿地区、3-7 中国地区、3-8 四国地区、3-9 西部地区

資料4 データベース SAIGAI

資料5 各地区の書類の整理と他者（学外の方等）への貸出について

資料6 自然災害科学総合シンポの次年度以降の開催方針

議事に先立ち、堀京都大学防災研究所長から挨拶があった。続いて、大慈弥文部科学省研究開発局 地震火山防災研究課 防災科学技術調整官から挨拶があった。

前回議事録の確認

令和6年5月9日開催分の令和6年度第1回京都大学防災研究所自然災害研究協議会の議事録（案）について、確認のうえ、原案どおり承認された。

議 事：

1. (審議) 令和 6 年度本部・各地区部会からの活動報告及び今後の活動計画

資料 3-1 乃至 3-9 に基づき、本部及び各地区部会より令和 6 年度の活動計画及び予算計画について報告があった。報告要旨は以下のとおり。

- ・ 本部：第 61 回自然災害科学総合シンポジウム、(共催) 河川災害に関するシンポジウム(主催：土木学会水工学委員会)、(後援) 防犯防災総合展 2024、科研費(特別研究促進費)・突発災害調査の実施、自然災害研究協議会による突発災害(初動調査、継続的調査等)調査研究サポート、データベース SAIGAI の充実、国際展開調査、研究者ネットワーク(人材データベース)
- ・ 北海道地区：北海道地区自然災害科学資料センター報告、北海道地区幹事会 2 回、北海道地区総会 1 回、地区フォーラム開催、北海道地区自然災害科学資料センター報告(Vol.38 の発行：3 月に予定)、北海道地区自然災害科学資料センターホームページの管理運営(随時)、予算計画
- ・ 東北地区：東北地区自然災害資料センターの管理運営、ウェブページの管理運営、東北地区部会員名簿、メーリングリストの更新、東北地域災害科学研究集会及び東北地区部会総会の開催、研究論文集「東北地域災害科学研究」第 61 巻の発行(2025 年 3 月末を予定)
- ・ 関東地区：オンラインセミナー「能登半島地震から半年 被災地の現状はいま ジェンダー視点」、「(仮) 関東大震災から 101 年。災害の記録をジェンダーの視点から読み解く。」、「(仮) 『原発事故、ひとりひとりの記憶 3.11 から今に続くこと』」、「レジ部門と産学官連携協議会・防災 DX 研究会と共催企画：防災・減災のデジタル活用術セミナー」、「ハザードマップを見ながらの避難所周辺散策」、予算計画
- ・ 中部地区：げんさい楽座のスピアウト企画の開催等、減災連携研究センターシンポジウムの開催等、「三重大学・防災アカデミー」の開催、シンポジウム「インフラの耐震性強化・災害復旧とメンテナンス」の開催、東三河地域の防災力向上シンポジウムの開催、自然災害科学中部地区研究集会の開催、中部地区自然災害資料センターの活動、自然災害調査・報告活動、予算計画
- ・ 近畿地区：近畿地区部会幹事会の開催(9 月 3 日：対面開催)、研究者データベースの更新、防災関連研究集会の共催の募集、近畿地区部会幹事会のメンバーの増強、近畿地区部会幹事会の開催、防災関連研究集会の共催、ホームページの内容更新、部会員への情報提供
- ・ 中国地区：部会ホームページの管理運営を行うとともに内容の充実を図り、部会員へ

情報提供等を行う。2024 年度自然災害研究協議会中国地区部会研究発表会を実施する。自然災害研究協議会中国地区部会研究論文集（第 11 号）の発行を行う。各防災研究グループへの活動補助（調査旅費、調査用消耗品等）を実施する。特に今年度は令和 6 年能登半島地震調査を中心に実施する。中国地方（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）に在住する研究者等との研究活動の連携を図る。山口大学地域レジリエンス研究センターと連携して諸活動を展開する。今後開催される自然災害研究協議会中国地区部会研究発表会の日程、プログラムが決まり次第、ホームページ(<https://www.ndrc-chugoku.org/>) に情報を掲載する。2025 年 1 月～3 月頃に自然災害研究協議会中国地区部会研究発表会を実施する。研究発表会にあわせて研究論文集第 11 号(電子版) を発行する。2024 年 4 月末～5 月初めにかけて能登半島地震調査を行った 3 名に旅費を支出した。これまでに引き続き、中国地方在住の研究者と研究活動の連携を図る。中国地区部会研究発表会を山口大学地域レジリエンス研究センターと共催で実施することで発表会の参加者層を広げる。また、その他の講演会の企画などでも連携を模索する。

- ・ 四国地区：突発災害調査又は過去の被災地復興調査、令和 6 年度自然災害フォーラム及び第 19 回南海地震四国地域学術シンポジウムの合同開催、四国地区部会の開催、予算計画
- ・ 西部地区：西部地区部会研究発表会の開催、西部地区部会報第 49 号の発行と関係機関等への配布、西部地区部会メーリングリストの管理・更新、予算計画

2. （審議）地区部会名簿の作り方

王委員より、地区部会名簿について現状説明を行った後、意見交換を行った。

本部で各地区の構成員の更新方針を作成することとなった。

主な意見は以下のとおり、

- ・ 地区部会であれば、メンバーは単一の大学に限らないのではないか
- ・ 突発災害の申請において、情報共有などの連携が必要

3. （報告）各地区の書類の整理について

資料 5 に基づき、王委員より報告があった。

4. （報告）自然災害科学総合シンポの次年度以降の開催方針

資料 6 に基づき、王委員より報告があった。今後は、隔年で防災研究所にて行い、その中間

年度においては、他学会から要請があり、協議会にて合意が得られた場合に限り、連携して開催する方針を確認した。

5. 今後の予定（第3回自然災害研究協議会開催について）

3月に開催する予定

6. その他

- ・ 資料4に基づき、廣井委員より、データベース SAIGAI 改革に向けた取り組みの進捗報告があり、廃棄や貸し出しについて、原案のとおり承認した。